



開国をテーマとした「海の学び」授業案集
小学校編
(未定稿)

2017年7月

本書について

総合的な学習の時間が2000年度に導入されて以降、それまで以上に博物館と学校との連携が強く求められるようになりました。神奈川県立歴史博物館においても、「教員のための博物館講座」を実施し、教員の方々が博物館やそこに所蔵されている資料について理解していただくことで、有効に授業に活用できるような支援態勢をとっています。

今回、日本海事科学振興財団・船の科学館の支援を受け、開国をテーマとする「海の学び」授業案集 小学校編(稿)をまとめることとしました。

これまで海洋教育については、理科を中心とした自然科学分野において活発な実践報告が行われていたのに比べ、社会科などの人文科学分野においては、「海」をテーマとすることがなかなか困難であったということもあり、具体的な実践報告はほとんどされてきていなかったことから、かながわの歴史のみならず日本の歴史にとっても重大な歴史事象である開国期をテーマに設定し、授業案の作成を試みました。授業案の作成に当たっては、学芸員と博物館活動をよく知る教員により研究会を組織し、検討を行ったうえで行いました。

開国期を通して「海を学ぶ」ということを念頭にしたものですが、ここでは開国期を、

「鎖国」を維持するために自然の要害として機能していた「海」が、 外国と日本とを結ぶ路(みち)へと変化した時期

と捉え、11の事例を集めました。

ここで示している授業案はあくまでも案であり、通常の開国期の授業に「海」という視点を加味することで、これまでとは違った授業を実践したいと考えている小学校教員が、参考とすることを想定しています。

また、博物館等が所蔵する文化財(資料)を取り入れた授業となるよう、代表的な資料名を使用した案となっています。ここにあげられた資料は、地域の資料所蔵施設に遺る資料に組み替えることも可能であり、その地域の実情に応じた授業でも活用できるものです。

なお、各授業案の内容については、あわせて「開国テーマとした「海の学び」授業案の手引き(小学校編)(未定稿)」を参照のえう、よりよい授業を実践していただきたいとお思います。

2018年7月
神奈川県立歴史博物館
主任学芸員 嶋村元宏

- ※ 本授業案集は未定稿です。
- ※ 参考としていただくことは問題はありません。
- ※ 授業案中に明記された資料を利用される場合は、各所蔵施設へお問い合わせください。本授業案集の明記されていることをもって、授業で利用することが承認されているわけではありません。
- ※ 本授業案集に関する質問、意見は神奈川県立歴史博物館 学芸部 嶋村までお願いします。

テーマ		異国船の来航と海防		
ねらい		○「鎖国」を維持するためには、海岸を守ることが必要であったことを理解させる。 ○海防を担当した人々について知る。		
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	備考
導入	5分	①学習課題の確認 ●世界地図を見せる ●発問 ・「日本と、中国、韓国、イギリス、フランスと違うところは？」 →日本だけ、海に囲まれていることを理解させる。	<ペア活動> ○隣同士で話し合う。	☆世界地図
②展開1	20分	●発問 ・「江戸幕府が、外国から来る人は何に乗ってきたのだろうか？」 ●発問 ・「鎖国」を維持するために、異国船の来航にどのように対応したのだろうか？」	○外国人が日本に来るときには船を使わないとやってこれないことを理解する。 ○異国船の来航を防ぐためには、海岸を防禦する必要があることを理解する。	
③展開2	15分	(例)江戸湾防備 ●発問 ・「江戸湾はどのような人々が守っていたと思う？」 ●江戸湾防備の状況を示す絵図を提示する。	○地元の海がどのように(どのような人々によって)守られていたかを理解する。 ○絵図から、いろいろな藩が守っていたことを知る。	☆《海陸御固図》 神奈川県立歴史博物館所蔵
まとめ	5分	●児童から感想を聞きまとめる。	○感想を発表する。	

テーマ		異国船の来航と海防		
ねらい	<p>○江戸時代において、日本の人々が海とどのように関わってきたかを理解させる。 ○「鎖国」を維持するためには、海岸を守ることが必要であったことを理解させる。 ○「鎖国」をしているときでも、海の外側の様子に関心を持っていた人物がいたことを理解させる。</p>			
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	使用教材例
① 導入	10分	<p>□復習を行う。 ●江戸時代、日本は鎖国をしていたことを確認する。 ・発問 「江戸時代、日本と外国との関係はどのような状態だった？」 □学習課題の確認 ●鎖国を続けるために海を守る必要があったことに気づかせる。 ・発問 「オランダや中国の船以外を来させないようにするためには、どうすればいいだろう？」 「どこを守ればいいだろう？」</p>	<p>・教科書などから、「キリスト教と関係のないオランダと中国とだけ貿易をしていた(鎖国)していた」ことを確認する。 ・隣同士で相談する 「オランダや中国以外が来たら、追い払おう。」 「海のそばに大砲を置いてこさせないようにする」</p>	
② 展開	25分	<p>【杉田玄白】 ●画像提示 《杉田玄白肖像》を見せる。 ●杉田玄白は、鎖国中も海外のことを勉強していて、鎖国を続けるためには、外国が来ないようにしなければならないことを主張していたことを理解させる。 ・発問 「この老人は、誰だか覚えていますか？」 ●杉田玄白は、「オランダ語の書物を通してヨーロッパの学問の研究(蘭学)を行う蘭学者であったことを紹介する。 ・肖像画の解説 「絵の左下に書かれているのは何かかな？」 (余裕があれば、)「何語で書かれた本かな？」 ●日本語ではなく、オランダ語で書かれた本であることを説明する。(杉田玄白はオランダ語が読めたことを紹介。 ●海を渡って海外の知識が日本に入ってきていることを確認する。</p>	<p>○教科書などで、描かれた人物が「杉田玄白」であることを確認する。 「本」 「オランダ語」</p>	<p>☆重要文化財 石川大浪筆 《杉田玄白肖像》 文化9(1812)年 早稲田大学図書館蔵</p>
まとめ	10分	●児童から感想を聞きまとめる。	○感想を発表する。	

テーマ		異国船の来航と海防		
ねらい	<p>○江戸時代において、日本の人々が海とどのように関わってきたかを理解させる。</p> <p>○「鎖国」を維持するためには、海岸を守ることが必要であったことを理解させる。</p> <p>○「鎖国」をしているときでも、海の外側の様子に関心を持っていた人物がいたことを理解させる。</p>			
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	使用教材例
① 導入	1 0 分	<p>□復習を行う。</p> <p>●江戸時代、日本は鎖国をしていたことを確認する。</p> <p>・発問 「江戸時代、日本と外国との関係はどのような状態だった？」</p> <p>□学習課題の確認</p> <p>●鎖国を続けるために海を守る必要があったことに気づかせる。</p> <p>・発問 「オランダや中国の船以外を来させないようにするためには、どうすればいいだろう？」 「どこを守ればいいだろう？」</p>	<p>・教科書などから、「キリスト教と関係のないオランダと中国とだけ貿易をしていた(鎖国)していた」ことを確認する。</p> <p>・隣同士で相談する 「オランダや中国以外が来たら、追い払う。」 「海のそばに大砲を置いてこさせないようにする」</p>	
② 展開	2 5 分	<p>【海防巡検】</p> <p>●画像資料を見せながら、どのような様子を描いたか考えさせる。</p> <p>・発問 「何が描かれているだろう？」</p> <p>●この人たちは、海を通ってやってくる外国を越させないようにするための準備をしていることを理解させる。</p> <p>・発問 「この人たちは、なぜ海のそばの様子や大砲を発射したりしてところを調べているのだろう？」</p>	<p>○画像から見て、隣同士でわかったことを言い合ってみる。 「武士(侍)が歩いている」 「大砲(武器)がおいてある」 「大砲を発射している」など</p> <p>「外国の人たちは、海からやってくるので、海から来させないようにするために準備している」など</p>	<p>☆《近海見分之図》 4冊、嘉永4(1851)年 神奈川県立歴史博物館蔵</p> <p>☆重要文化財 谷文晁筆 《公余探勝図》 2巻 寛政5(1793)年 東京国立博物館</p>
まとめ	1 0 分	●児童から感想を聞きまとめる。	○感想を発表する。	

テーマ		異国船の来航と海防		
ねらい	<p>○江戸時代において、日本の人々が海とどのように関わってきたかを理解させる。 ○「鎖国」を維持するためには、海岸を守ることが必要であったことを理解させる。 ○「鎖国」をしているときでも、海の外側の様子に関心を持っていた人物がいたことを理解させる。</p>			
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	使用教材例
① 導入	10分	<input type="checkbox"/> 復習を行う。 ●江戸時代、日本は鎖国をしていたことを確認する。 ・発問 「江戸時代、日本と外国との関係はどのような状態だった？」 <input type="checkbox"/> 学習課題の確認 ●鎖国を続けるために海を守る必要があったことに気づかせる。 ・発問 「オランダや中国の船以外を来させないようにするためには、どうすればいいだろう？」 「どこを守ればいいだろう？」	・教科書などから、「キリスト教と関係のないオランダと中国とだけ貿易をしていた(鎖国)していた」ことを確認する。 ・隣同士で相談する 「オランダや中国以外が来たら、追い払おう。」 「海のそばに大砲を置いてこさせないようにする」	
② 展開	30分	【台場】 ●画像資料を見せながら、どのような様子を描いたか考えさせる。 ・発問 「これが何かわかりますか？」 ●台場は、海を守るための要塞だったことを理解させる。 ●地元にも、江戸時代に作られた台場がないか調べさせる。	○地図で、描かれた台場の位置を確認する。 ○画像から見て、隣同士でわかったことを言い合ってみる。 「石垣があるからお城」 「お台場」など ○3人から6人程度のグループ(6グループ程度)に分かれ、何を調べればいいのか相談する。	☆《相房総台場略図》 1巻 江戸時代末期 真田宝物館 ※台場を描いた絵図は、各地の博物館施設で所蔵されているので、地域に応じて地元の台場図を活用する。
まとめ	10分	●調べ方を説明する (事前に博物館等と調整しておき、実際に伺わせていただいて資料を調べる)		
導入	5分	<input type="checkbox"/> 作業内容の確認 ●1グループ5分程度	○事前に、調べたことをまとめておく。	

発表	30分	●司会・進行を行う。 ・適宜、まとめと質疑応答進める。	○他のグループの発表を聞き、質問や意見を述べる。	
まとめ	10分	●全体を通してのまとめを行う。 ・地元にも、海を守るための施設があったことを再度確認する。		

テーマ		異国船の来航と海防		
ねらい	<p>○江戸時代において、日本の人々が海とどのように関わってきたかを理解させる。</p> <p>○「鎖国」を維持するためには、海岸を守ることが必要であったことを理解させる。</p> <p>○「鎖国」をしているときでも、海の外側の様子に関心を持っていた人物がいたことを理解させる。</p>			
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	使用教材例
① 導入	10分	<p>□復習を行う。</p> <p>●江戸時代、日本は鎖国をしていたことを確認する。</p> <p>・発問 「江戸時代、日本と外国との関係はどのような状態だった？」</p> <p>□学習課題の確認</p> <p>●鎖国を続けるために海を守る必要があったことに気づかせる。</p> <p>・発問 「オランダや中国の船以外を来させないようにするためには、どうすればいいだろう？」 「どこを守ればいいだろう？」</p>	<p>・教科書などから、「キリスト教と関係のないオランダと中国とだけ貿易をしていた(鎖国)していた」ことを確認する。</p> <p>・隣同士で相談する 「オランダや中国以外が来たら、追い払おう。」 「海のそばに大砲を置いてこさせないようにする」</p>	
② 展開	30分	<p>【海防巡検】</p> <p>●画像資料を見せながら、地元の名が江戸湾防備を行っていることに気づかせる。</p> <p>・発問 「私たちに関係することがかいてありませんか？」</p> <p>●自分の領地でなくても、海を守っていたことを理解させる。 「幕府は、外国船が来たときに、自分の領地以外でも守るようにあらかじめ決めていました。自分の領地が海に接していない内陸の人たちも、海を守っていました。」</p> <p>●海を守りにいった人たちは、どういう様子であったかをグループごとに調べさせる。</p>	<p>○画像から見て、隣同士でわかったことを言い合ってみる。</p> <p>「○○藩(地元の藩)って書いてある」</p> <p>○3人から6人程度のグループ(6グループ程度)に分かれ、何を調べればいいのか相談する。</p>	<p>☆《泰平安眠鑑》1枚 江戸時代末期 神奈川県立歴史博物館</p> <p>※ペリー来航時に、江戸湾防備を行った大名の配置を示した図は、各地の博物館施設で所蔵されている。</p>
まとめ	10分	<p>●調べ方を説明する (事前に博物館等と調整しておき、実際に伺わせていただいて資料を調べる)</p>		
導入	5分	<p>□作業内容の確認</p> <p>●1グループ5分程度</p>	○事前に、調べたことをまとめておく。	

海防 No.5

発表	30分	<ul style="list-style-type: none"> ●司会・進行を行う。 ・適宜、まとめと質疑応答進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他のグループの発表を聞き、質問や意見を述べる。 	
まとめ	10分	<ul style="list-style-type: none"> ●全体を通してのまとめを行う。 ・海がない地域の人々が、どのような思いで海を守っていたかを確認する。 		

テーマ		ペリー来航時の世界		
ねらい		○海を渡るための船の構造が大きく変化したことを理解させる。 ○海が日本と世界をつないでいたことを理解させる。		
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	備考
① 導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ●「鎖国」とはどのような状況であったかを聞く(これまでの復習)。 オランダ以外の西洋の国と貿易をしないこと、日本人の海外渡航が禁止されていること、キリスト教を信仰することが許されていないこと、再確認する。 ・板書—児童の発言をもとに、「①オランダ以外の西洋諸国との通商禁止、②日本人の海外渡航禁止、③キリスト教を信仰すること禁止」を箇条書きする。 ●18世紀末から通商を求めて異国船が頻繁に来航していたことを再確認する。 		
② 展開1	10分	<ul style="list-style-type: none"> ●蒸気船の絵図を提示する。 ●発問 ・「「鎖国」する前に日本へ来ていた外国船とどのようなところが違うだろう？」 ●蒸気機関が発明されたことで、船の構造が変わったことを説明し、西洋が工業化したことを理解させる。 	○絵図を見て、発問に答える。	☆《本国蒸気船之図》／《(黒船の図)》 江戸時代末期 神奈川県立歴史博物館蔵 など
③ 展開2	20分	<ul style="list-style-type: none"> ●『ペリー提督遠征記』の挿図を提示する ・ペリーがアメリカノーフォークから日本へ来航するまでに寄港した各地の様子を紹介する。 	○提示された挿図から、他の国々の様子について知る。	☆《ペリー提督日本遠征記の挿絵》 1856年 神奈川県立歴史博物館蔵
まとめ	5分	●ペリーが日本へ来航した時代は、海を通じて船で外国とつながっていたことを再確認させる。	○感想などをまとめさせる。	

テーマ		ペリーからの贈り物		
ねらい	○海が世界をつないでいたことを理解させる。 ○海を渡るための船の構造が大きく変化したことを理解させる。 ○海を通じて、外国のものが日本へもたらされたことを理解させる。			
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	備考
① 導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ●「鎖国」とはどのような状況であったかを聞く(これまでの復習)。 ○オランダ以外の西洋の国と貿易をしないこと、日本人の海外渡航が禁止されていること、キリスト教を信仰することが許されていないこと、再確認する。 ・板書—児童の発言をもとに、「①オランダ以外の西洋諸国との通商禁止、②日本人の海外渡航禁止、③キリスト教を信仰すること禁止」を箇条書きする。 ●18世紀末から通商を求めて異国船が頻繁に来航していたことを再確認する。 		
③ 展開	3分 5分	<ul style="list-style-type: none"> ●画像資料を見せ、何があげられているかを確認する。 ●児童からの回答を箇条書きで板書する。 ●陸揚げされた献上品が「海」をわたってもたらされたものであることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○描かれているものが何であるかに注目する。 ○教員からの質問に答える ・蒸気機関車 ・大きなカマ ・グラインダー ・スコップ ・電信柱 ・剣付銃 ○「海」を渡ってこれまで日本になかったものがもたらされたことを理解する。 	☆《電信機》《蒸気機関車》等を描いた瓦版
まとめ	5分	●児童から感想を聞きまとめる。	○感想を発表する。	

		No.8		
テーマ		「海」がつなぐ世界と地元		
		「海」がつなぐ世界と地元		
ねらい		<p>○海が世界をつないでいたことを理解させる。</p> <p>○海を渡るための船の構造が大きく変化したことを理解させる。</p> <p>○当時描かれた(記述された)記録から、現地から離れた場所の人々へも、海を渡ってもたらされた西洋の文物についての知識が行き渡っていたことを理解させる。</p>		
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	備考
導入	10分	<p>●「鎖国」とはどのような状況であったかを聞く(これまでの復習)。</p> <p>オランダ以外の西洋の国と貿易をしないこと、日本人の海外渡航が禁止されていること、キリスト教を信仰することが許されていないこと、再確認する。</p> <p>・板書—児童の発言をもとに、「①オランダ以外の西洋諸国との通商禁止、②日本人の海外渡航禁止、③キリスト教を信仰すること禁止」を箇条書きする。</p> <p>●18世紀末から通商を求めて異国船が頻繁に来航していたことを再確認する。</p>		
展開1	10分	<p>●蒸気船の絵図を提示する。</p> <p>・発問 「「鎖国」する前に日本へ来ていた外国船とどのようなところが違うだろう？」</p> <p>●蒸気機関が発明されたことで、船の構造が変わったことを説明し、西洋が工業化したことを理解させる。</p>	○絵図を見て、発問に答える。	☆《本国蒸気船之図》／《(黒船の図)》 江戸時代末期 神奈川県立歴史博物館蔵 など
展開3	5分	<p>●地元に残る蒸気船や蒸気機関車の絵図を提示し、ペリー来航が地元へも伝わってきていたことを理解させる。</p> <p>・発問 「ペリーはどこに来たのでしょうか？」 「なぜ、浦賀(久里浜、横浜)であった事件を描いた絵(記録)が地元に残っているのだろうか？」 →現地周辺に地元の人が行っていたことを推測させる。</p>	<p>○絵図を見て海を渡って西洋のものを描いた記録が自分の周りに残っていることを知る。</p> <p>「浦賀」、「久里浜」、「横浜」など</p> <p>○現地から離れた場所に住んでいる人々で、海を渡ってもたらされた文物について知っていたことを理解する。</p>	☆地元に残る《電信機》《蒸気機関車》等を描いた瓦版
まとめ	10分	●児童から感想を聞きまとめる。	○感想を発表する。	

科目名					No.9
テーマ		開港による西洋化			
ねらい		○日本の近代化(西洋化)に果たした海の役割を理解する。 ○海を通じて西洋の文物が日本にもたらされるようになったことを理解させる。			
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	備考	
① 導入	5分	●西洋から様々な事物が輸入されるようになった理由、すなわち通商条約が締結されたことによるものであることを理解させる。 ・自由に貿易ができること。 ・貿易のために、外国人が日本に住むことが許されたこと		☆《横浜御開港全図》などの開港当時の横浜の絵地図	
② 展開	30分	●横浜浮世絵を提示し、開港により海を通してどのようなものが西洋から日本へもたらされたかを理解する。 ・発問 「江戸時代に日本になかったもので、西洋から伝わったものには何があるだろう？」	〈グループワーク6名程度〉 各グループで検討し、代表者が発表する。	☆《横浜浮世絵》 江戸時代末期 神奈川県立歴史博物館蔵	
まとめ	10分	●児童から感想を聞きまとめる。	○感想を発表する。		

科目名		No.10		
テーマ		海がつなげる日本と世界		
ねらい		○日本の近代化(西洋化)に果たした海の役割を理解する。 ○海を通じて日本の文化や産物が世界へ発信されたことを理解する。		
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	備考
① 導入	5分	●西洋から様々な事物が輸入されるようになった理由、すなわち通商条約が締結されたことによるものであることを理解させる。 ・自由に貿易ができること。 ・貿易のために、外国人が日本に住むことが許されたこと		☆《横浜御開港全図》などの開港当時の横浜の絵地図
② 展開	30分	●欧米の博物館等に残る浮世絵、陶磁器、写真アルバムを提示し、なぜ日本の製品が海外にあるかを考えさせる。	〈グループワーク6名程度〉 各グループで検討し、代表者が発表する。	☆浮世絵、陶磁器、横浜写真アルバム、など 神奈川県立歴史博物館蔵
まとめ	10分	●児童から感想を聞きまとめる。	○感想を発表する。	

科目名		No.11		
テーマ		海を渡った人々		
ねらい		<p>○日本の近代化(西洋化)に果たした海の役割を理解する。 ○日本から海を渡って海外に実際に行った人々が、日本の暮らしを変える原動力となったことを理解させる。</p>		
段階	時間	教師の活動	生徒の学習活動	備考
導入	5分	<p>●西洋から様々な事物が輸入されるようになった理由、すなわち通商条約が締結されたことによるものであることを理解させる。 ・自由に貿易ができること。 ・貿易のために、外国人が日本に住むことが許されたこと</p>		☆《横浜御開港全図》などの開港当時の横浜の絵地図
②展開	10分	<p>●福沢諭吉の写真を見せ、欧米に行った経験があること、そのとき見聞いたことを本にまとめたことを理解させる。</p>		☆《福沢諭吉》
③展開	25分	<p>●福沢のように、欧米に行った経験がある地元出身の人について調べる準備をする。 ●渡航経験がある地元出身者の業績を調べるための助言を行う。</p>	<p>〈グループワーク6名程度〉 ○調べ方を理解し、調べるための準備(役割分担など)を決める</p>	☆谷文一《遣米使節スケッチ》ど神奈川県立歴史博物館蔵
まとめ	10分	●児童から感想を聞きまとめる。	○感想を発表する。	